



さくら湖だより

発行
国土交通省 東北地方整備局
三春ダム管理所
〒963-7722
福島県田村郡三春町
大字西方字中ノ内403-4
TEL0247-62-3145



大滝根川源流(大越町)

標高1192mの大滝根山を源とする大滝根川は、その源頭からわずか3kmという距離の間に約500mの高低差を流れ落ちてきます。そこにはまだ、人の手が入っていない原始の姿を見ることができます。



今月のお知らせ

三春ダム資料館
俳句・短歌・川柳を
募集しております。

柳沼 晴二氏(三春町清水)による
三春ダム水没地帯写真展

追憶の溪流

1月5日(月)~2月1日(日)まで開催

場所:三春ダム資料館(1F展示ギャラリー)



三春ダムの特徴

No.10 生物(魚)



多くの種類の魚がいる前貯水池

平成11年に行われた調査では、さくら湖には18種類の魚類が生息していることが確認されました。

全体的にはオイカワやウグイが多く、他の湖と同じようにブラックバスやブルーギルなどの外来種も確認されています。

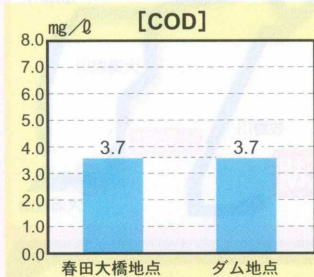
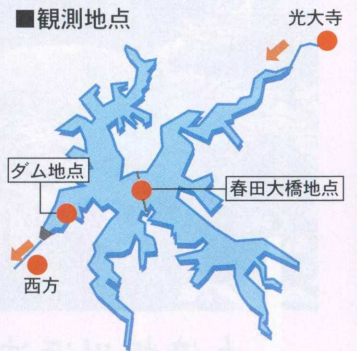
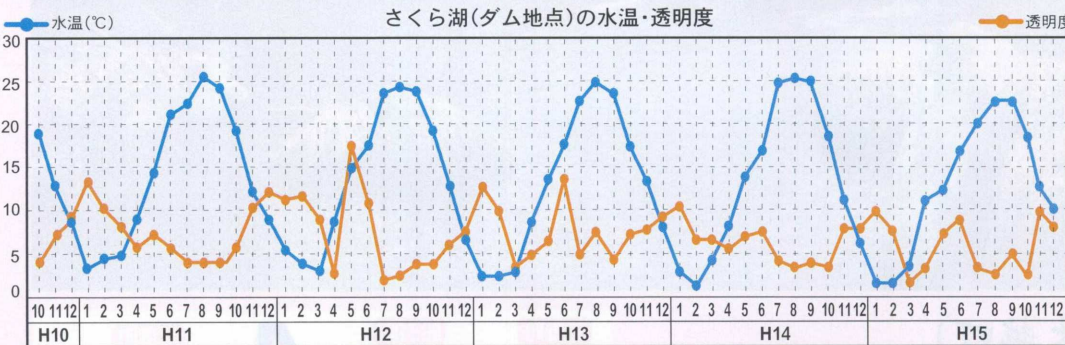
さくら湖に流入してくる4つの河川には、水質保全のため前ダム(前貯水池)が設置されています。前貯水池は水深が比較的浅く、湖岸の傾斜が緩やかで植生が繁茂している場所が多いことから、魚類の繁殖場所として適しています。そのため前貯水池は本貯水池より多種の魚が確認されています。

調査区分	生息確認種
前貯水池	コイ、ゲンゴロウブナ、ギンブナ、キンブナ、タイリクバラタナゴ、オイカワ、アブラハヤ、ウグイ、モツゴ、タモロコ、カマツカ、ニゴイ、ドジョウ、ギバチ、ブルーギル、ブラックバス、ウキゴリ、トウヨシノボリ
本貯水池	コイ、キンブナ、オイカワ、ウグイ、ニゴイ、ブルーギル、ブラックバス、トウヨシノボリ

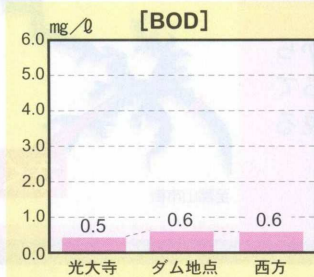
▲さくら湖の生息確認種 (平成11年度河川水辺の国勢調査より)

水質の状況 (平成15年12月9日現在)

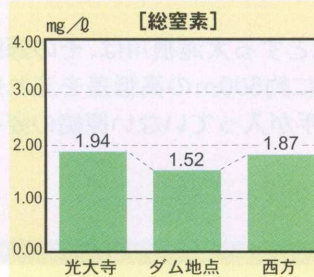
三春ダム管理所では、さくら湖や大滝根川の水質を定期的に観測しています。



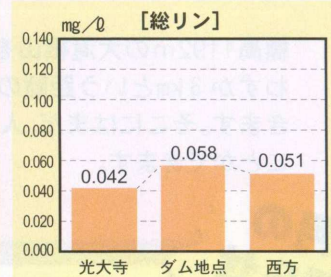
■COD(化学的酸素要求量)
コイ・フナ類が生息するためには5mg/l以下が適当とされています。
※全層平均値



■BOD(生物化学的酸素要求量)
大滝根川では2mg/l以下とされています。また、コイ・フナ類が生息するためには5mg/l以下が適当とされています。



■総窒素
一般に窒素が0.15mg/l以上であると富栄養化するとされています。



■総リン
一般にリンが0.02mg/l以上であると富栄養化するとされています。

三春ダムからのお知らせ

三春ダムでは、皆様のご意見や情報の提供をおまちしています。

郵便またはFAXで 〒963-7722 福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4
国土交通省 三春ダム管理所 FAX0247-62-3170

■インターネットでも、さくら湖だより・さくら湖管理ニュースを見ることができます。
ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>



- 郡山東I.Cから車で約15分
- 郡山駅から車で約20分
- 三春駅から車で約10分

お願い

ダム下流での釣り、水遊びなど河川利用される方は、気象情報・放流情報に充分注意をお願いします。